10・18・24MHz帯 インバーテット
V型ワイヤーアンテナ
MT-WARC　取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
本品は、10・18・24MHz WARCバンドワイヤーアンテナです。
広帯域バランの採用により不要輻射を抑えＴＶＩに対して強い設計です。しかし十分に調整が取れていなければ、その性能を発揮できませんので、本書を注意深くお読みになり全体を把握した上でご使用ください。

● 規格

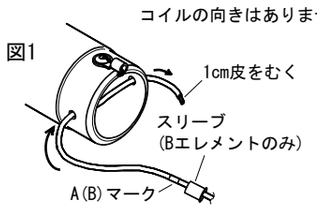
周波数帯： 10・18・24MHz帯
最大入力： 500W A3J　/ 300W　A1
V. S. W. R.**：** 1：1.5以下
入力インピーダンス： 50Ω
全　長： 8m/10m 二線式

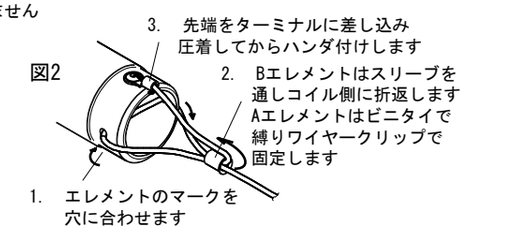
● 組立て・調整作業をする際の注意

- 組立ては、部品の脱落などがないように、適切な工具を用いて確実におこなってください。
- アンテナを設営する際には、安全に十分配慮してください。
レ　高所での作業を行う場合は特に気をつけてください。
- 悪天候下での作業は、おこなわないでください。

●エレメント組立要領

1. コイルにA・B**エレメントを取付けます。**（10・24MHz）





2.　A・Bエレメントを仕上げます。

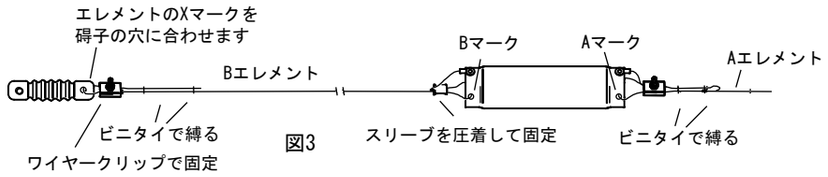


図3

3. Cエレメントを組立てます。(18MHz)
図3の様に、CエレメントのDマーク部分にも、波形碍子を取付けます。

4. エレメントをバランに取付けます
図4を参考に、上記で組立てたエレメントをバランに取付けます。
Aエレメントをバランのターミナルに通し、Cマークで折り返し
ビニタイで固定します。その後、Cエレメントと共にバランの
ターミナルにネジ止めします。

5. バランサポーターの取付け
まず、同軸ケーブルをバランサポーターの下から通し、M-Pコネクターをバランに接続します。その後、コネクターの接合部分をブチルゴムで巻いて防水処理し、バランをサポーターに差込みます。

※パイプ内径はφ18.5で仕上がっているため、市販されているM-Pコネクター(外径φ19)は通りません。市販のM-Pコネクターを使用される場合には、あらかじめケーブルをサポーターに通した後に、コネクターのハンダ処理をしてください。

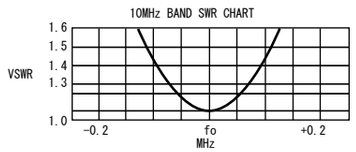
● 調整要領

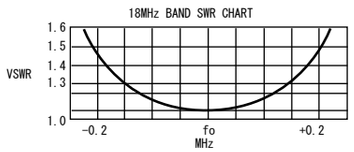
実際に運用する状態にアンテナを設置して調整します。
調整はエレメントを切らずに折返して行ないます。
・調整の順序は1、2、3のどちらからでも結構です。
・VSWRを低くするためには、アンテナの最低地上高を4m以上としてください。
・アンテナインピーダンスは、エレメントを開く角度で変化します。120°でおよそ50Ωになります。

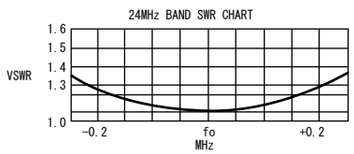
1.　10・24MHz帯の調整（A・Bエレメント）
まず24MHz帯から調整します。VSWRを測り、低い方に同調していれば、ワイヤークリップとビニタイをゆるめ、Aエレメント(A～C間)をix　短くします。5cmで、約300KHz高い方に同調します。
もし、周波数が高い方に同調している場合は、逆に間隔を長くします。次に10MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していれば、ワイヤークリップとビニタイをゆるめ、Bエレメント(B～X間)が、短くなるように、Xマークを折返します。5cmで、約100KHz高い方に同調します。満足する特性が得られるまで10/24MHz帯の長さを調整してください。

2.　18MHz帯の調整（Cエレメント）
Cエレメントは、A・Bエレメントに対し30～60°の角度で展張してください。上からアンテナを見た場合、X条になります。
C～X間を5cm短かくしますと、約100KHz高い方に同調します。

＊ 調整が完了しましたら、全てのワイヤークリップとビニタイを、しっかり固定してください。







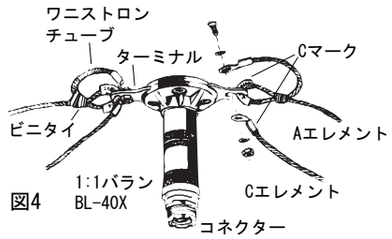
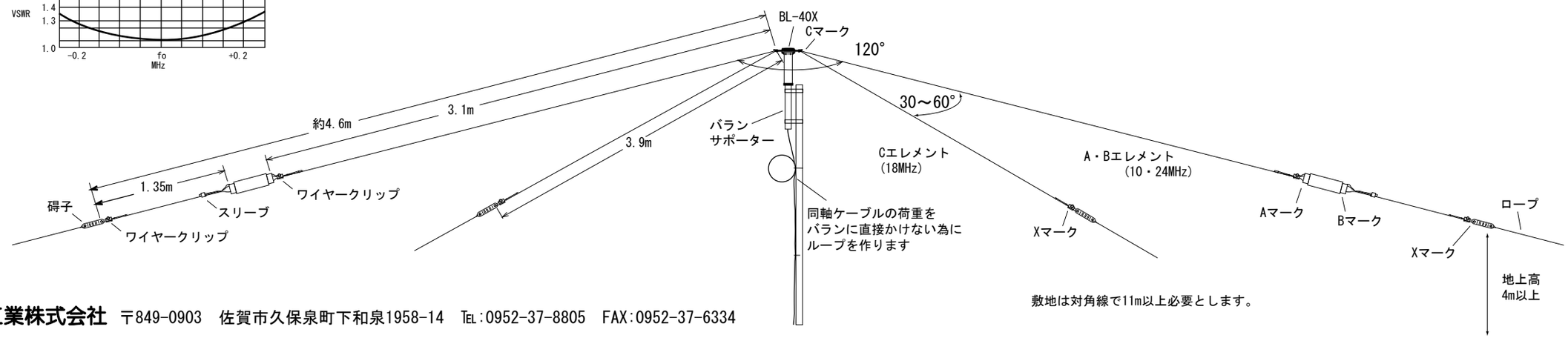


図4



サガ電子工業株式会社　〒849-0903　佐賀市久保泉町下和泉1958-14　TEL:0952-37-8805　FAX:0952-37-6334